

シリーズ

私の森語り

もりかた
森林・林業との関わりの中で、様々な課題に
挑戦されている方の取組を紹介します。



「今日も安全に間伐を行なおう」



NPO 法人名古屋
シティフォレスター倶楽部
理事長 山田 均

■自己紹介

現在は森林の整備活動を行っていますが、名古屋生まれの名古屋育ちで、現役時代は普通のサラリーマンで森林とは何の関係もありませんでした。

定年が迫るころ、何か定年後のやりがいを見つけないかと思い、妻が相続で貰った杉とクヌギの人工林の手入れを目指し、チェーンソーの扱いや伐倒技術を教えてくれるこの倶楽部入りました。

■活動内容

当倶楽部は、森林の重要性・必要性を認識して倶楽部員相互の親睦と林業体験活動を通して豊かな森林づくりを進めることを目的として、中部森林管理局の協



会員の集合写真 チェーンソーを扱う女性会員もいます

力を得て平成十二年一月三十日に設立されたボランティア団体です。(平成二十三年三月に法人認証され現在に至っております。)

令和七年五月の倶楽部員数は、二十三名で、年間の活動日数は約五十日、一回当たりの平均参加者数は十二名で年間六百人日ほど活動しています。



新入会員の指導も丁寧に行います

活動フィールドは、愛知県内の国有林二か所、県有林一か所、豊田市内の民有林一か所の計四か所です。それぞれ協定を結び、育林年数に応じた除伐や間伐や枝打ちなどを年間スケジュールを立てて行っております。

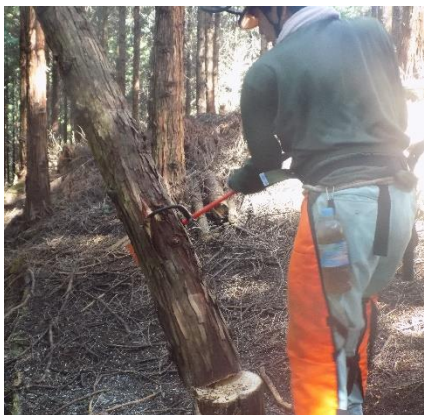
倶楽部の紹介なので堅苦しく記載しましたが、倶楽部員の多くは「思い通りのところに倒せたら爽快である。」「そのために技術を習得したい。」「伐倒の技術教本では禁止事項がいくつあるが、それがなぜ禁止なのか。」「禁止事項を安全に回避する方法はないか。」を日々考えて活動しています。スローガンは、「安全第一で活動し、無事に家に帰ろう」です。

■メッセージ

「間伐」や「チェーンソー」というキーワードでホームページを探して入会してくれる会員もいましたが、今は関心を示して頂ける方が一巡したのか問い合わせ件数が減少しています。

山道をチェーンソーを担いで目的地に入り、手入れの行き届いた自慢のチェーンソーを使って伐倒する。思い通りに倒れないこともあるが仲間と協議しながら最善策を見つめる。

こんな休日を我々と一緒に過ごしませんか。興味がありましたら、ご連絡ください。



掛かり木になった時は木廻しで対応

■連絡先

名古屋緑区潮見が丘三・五七 NPO
法人名古屋シティフォレスター倶楽部
<https://nagoya-forester.or.jp/>